

車体 解体マニュアル

医療防疫車（レントゲン車）

西鉄車体技術株式会社

佐賀県三養基郡基山町大字長野308-5

TEL 0942-92-5860

2021/3/1 発行

【はじめに】

1. 本マニュアルは、レントゲン車の解体に関して、作業手順及び使用済み架装物処理を適正に行うための手順を記載したものです。
2. 架装部品やシャシ関係部品についてはボディより取り外した後、医療機器メーカー、部品メーカー、シャシメーカー等の指示により解体・廃棄を行ってください。

<主な架装部品>

品目	メーカー	品目	メーカー
レントゲン装置	本体もしくは取扱書に記載してあります	充電器	本体もしくは取扱書に記載してあります
発動発電機		座席（2人掛け席等）	
バスクーラー		室内扉開閉器	
バスヒーター		電動天幕	
ルームエアコン		空気清浄機	
車体安定ジャッキ		アースリール	
天井換気扇		コードリール	
室内灯			

<主なシャシ部品>

シャシフレーム	動力伝達装置	灯火器部品	ダッシュ盤廻り品
エンジン	走行装置	バッテリー	キャブ部品
運転装置	緩衝装置	運転席	シャシ電装品
ECU	制動装置	助手席	油脂関係

3. 尚、本マニュアルの内容は予告なく改訂することがありますので予めご了承ください。

【車両を解体する際の留意点】

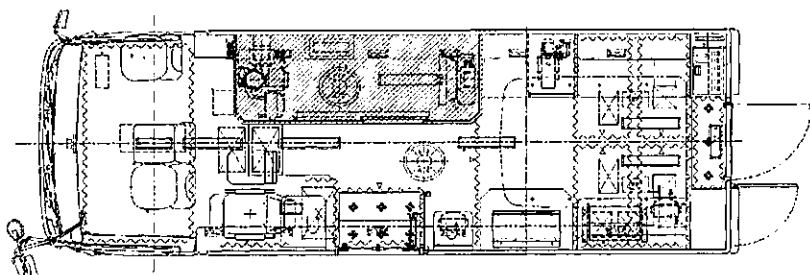
1. 安全上の留意点
 - ・定められた保護具を着用してください。
 - ・高所作業では必ず安全帯を使用してください。
 - ・燃料系の抜き取り、回収は消防法を遵守し、十分な換気も行ってください。
 - ・油脂、液体系の抜き取り、回収は地下浸透、施設外流出なき様行ってください。
2. レントゲン車の車体は鉄製骨格、鋼板等で構成されており、各部は主に溶接結合になっておりますので、解体作業は切断機等を使用して行ってください。
3. 解体した部品は、鉄・アルミ・ステンレス・木材・樹脂・ゴム類・配線材等を材料別に分類し、適正な処理を行ってください。

4. レントゲン撮影室の内壁、床、天井には、X線防護のため1.5mm～2.5mm厚の鉛板が挿入されています。また、撮影室仕切り壁及び扉のガラスは含鉛ガラスを使用していますので解体の際には必ず分類し、単独での適性な処理を行ってください。
5. 取り外したビス・ボルト類は、まとめて適正な処理を行ってください。

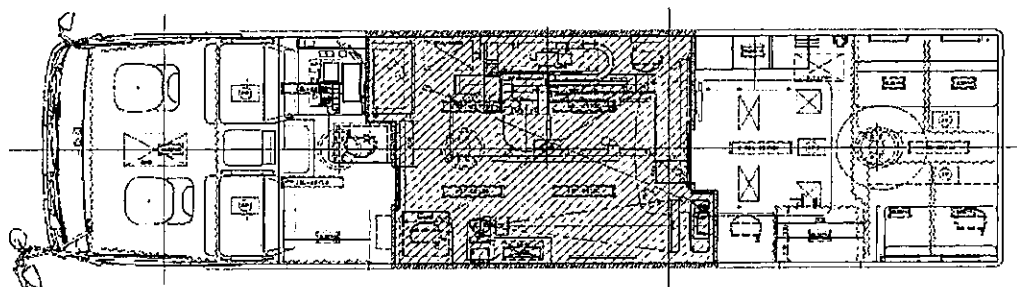
<注意>

- ・鉛は環境負荷物質として特定物質に使用されています。
- ・ビス、ボルト類は、表面処理材に六価クロムが含有されている場合があります。

<胸部レントゲン車架装例> (ハッチング部が鉛使用部位)



<胃胸部レントゲン車架装例> (ハッチング部が鉛使用部位)



6. 取り外した配線は、コルゲートチューブ等の保護材と分離し、適正な処理を行ってください。

【レントゲン車の解体手順】

車両解体の際には、まず以下の物の抜き取りを行い、それぞれ定められた方法での処理を行ってください。

- ・燃料（メインエンジン用、発電機用、ヒーター用 等）
- ・エンジンオイル（メインエンジン用、発電機用 等）
- ・ブレーキフルード
- ・冷却水（エンジンオイル用、発電機用 等）
- ・クーラー冷媒（純正クーラー、バスクーラー、ルームクーラー 等）
- ・車体安定ジャッキの作動油

【レントゲン装置の取り外し】

レントゲン装置の取り外しは、必ずレントゲン装置メーカーへ依頼してください。

<注意>

- ・レントゲン装置には、鉛を含めた環境負荷物質が使用されています。

【車両架装部品の取り外し】

前項リストに記載ある部品は、ボルト及びビスを外すと取り外せる構造となっています。

取外し後の廃棄方法などにつきましては、各部品メーカーにお問合せください。

【外装部品の取り外し】

1. 灯火器類は、ボルト又はビス固定です。
(ヘッドランプ、コンビランプ、方向指示器、サイドマーカー、路肩灯 等)
2. フロントガラス、リヤガラス、側面固定窓、昇降扉窓等はゴム及び接着式です。
ガラスとゴム及びシール材を分離してください。
3. 側面引違い窓は、ビス止めです。
ガラスとサッシ枠を分離してください。
4. フロントリッドは、ビス又はボルト止めです。
樹脂と鉄に分離してください。
5. 前後バンパーは、ボルト止めです。
FRP製と鋼板製があります。FRP製は、樹脂と鉄を分離してください。
6. フェンダートリムやモールは、差込み又は接着式です。
7. ワイパー、サイドミラーはナット止めです。
ゴム及び樹脂と鉄を分離してください。
8. 天幕、天幕カバー、手摺りは、ボルト又はビス止めです。
本体と幕布を分離してください。
9. 運転席ドア、助手席ドア、側面及び後面扉はボルト止めです。
本体とガラス、ゴム等は素材別に分離してください。
10. スカートリッドは、ボルト止めです。
表にロックが無い物は下部の裏側からボルト止めです。
11. コードリール、燃料タンク、補助ステップ等、床下架装物はボルト止めです。
燃料タンク内部の軽油、ガソリンの残存に十分注意してください。

【内装部品及び内板の取り外し】

1. 座席、ベンチシート、跳ね上げ席は、ボルト又はビス固定です。
本体とベルト、クッション、表皮は素材別に分離してください。
2. カーペット、カーテン等は、ホック又はマジックテープ止めです。
カーテンレールはビス固定です。
カーペット、カーテン、カーテンレールは、素材別に分離してください。
3. 木製家具及び跳ね上げテーブルは、ビス固定です。
木材、鉄、樹脂材に分離してください。
4. 間仕切り及び仕切り扉の窓ガラスは接着にて取付です。
間仕切り窓ガラスにはX線防護のため鉛が含まれていますので
骨格部、鉄製品、アルミ板とは分離してください。
5. 仕切り扉及び仕切り扉の開閉器はボルト固定です。
扉内部には鉛板、グラスウールが挿入されています。本体と分離して処理してください。
6. 配電盤、スイッチボックス、室内灯、コンセント等はビス固定です。
電装部品には、水銀等環境負荷物質が使用されている場合がありますので注意してください。
7. 配線カバーは、ビス固定です。
撮影室内のカバーにはX線防護のため鉛が含まれています。必ず分離してください。
カバー本体は、鋼板、アルミ板、樹脂製がありますので素材別に分離してください。
8. 天井内板は、ビス及び接着固定です。
内板本体は、鋼板、アルミ板、鉛板がありますので素材別に分離してください。
9. 側内板、間仕切り内板は、スポット溶接、ビス及び接着固定です。
内板本体が鋼板でスポット溶接の場合
スポット溶接打点を探し、8mm程度のキリで穴を開け剥がします。
※打点が見つりにくい場合は鉄板の周囲の塗装をサンダーで剥がして確認してください。
スポット溶接を剥がした後、サンダーやバールで解体してください。
内板本体が裏側に鉛板を張付けている鋼板でビス止めの場合
鋼板と鉛板を分離し適正に処理してください。
内板本体が鉛板を挟んでいる合板でビス止めの場合
合板と鉛板を分離し適正に処理してください。
10. 天井、内板と外板及び間仕切り骨格内にはグラスウールが挿入されています。
11. クーラーダクトは、ビス止め及び溶接固定です。
溶接固定の場合、サンダーやバールで解体してください。
ダクト内側のウレタン材と吹出しノズルは本体と分離し、適正に処理してください。
12. クーラー配管は、ビス止め固定です。
断熱材及びゴムホースを銅配管、樹脂配管と分離し、適正に処理してください。

1 3. クーラーダクト内板は、ビス又は溶接固定です。

溶接部をサンダーを用いて外してください。

1 4. 内外板間、間仕切り骨格内の配線は、抜取ってください。

1 5. 間仕切り骨格は、ビス又は溶接固定です。

サンダー、ハンマー等で周囲の溶接部を外し、切断機等で解体してください。

1 6. 床の点検蓋はボルト固定です。

上面の塩ビ材、ベニヤ板、断熱材を分離し、適正に処理してください。

1 7. 床は合板をビス止めし、上面に塩ビ材を接着してあります。

周囲の縁材を取外し、塩ビ材を剥がしてビスを外し、ボール等で床板を外してください。

床板に塩ビ材が残っている場合は、分離し適正に処理してください。

1 8. ハーネスはボルト固定です。

コルゲートチューブ等の保護材、配線クランプバンドを分離し、適正に処理してください。

【車体外板の取り外し】

1. 屋根外板の継ぎ目のシール材を剥がし、適正に処理してください。

2. 屋根外板、側面外板及び前後外板は、リベット及び溶接固定です。

溶接部はサンダーで削り、取り外してください。

シール接着部はカッターナイフ等で切り離してください。

リベット止め部は、リベットの頭をキリで穴を開ける要領で切取り、ボール等で剥がしてください。

3. 外板は、鋼板やアルミ板を使用しているので、分別し適正に処理してください。

【車体骨格の取り外し】

車体の骨格は、前面骨格、後面骨格、側面骨格、屋根骨格、床骨格と各パネルにて構成されています。

各骨格及びパネルの接合は、溶接で施工されています。

それぞれの接合部を切断し、廃棄可能な状態に裁断してください。

作業は、必ずクレーン等を使用し。パネル毎に吊上げた状態で行ってください。

(吊上げ能力500 k g 以上のクレーンを使用してください。)